



# 新卒者看護過程研修 ～個別性のある看護を実践しよう～



新卒者62名が看護過程研修を受講しました。講義では、アセスメントデータベースの枠組み、情報の整理・統合、看護問題と看護診断、患者目標と看護介入の関係を学びました。グループワークでは、事例を用いて看護診断を行い、患者目標、看護介入を検討しました。



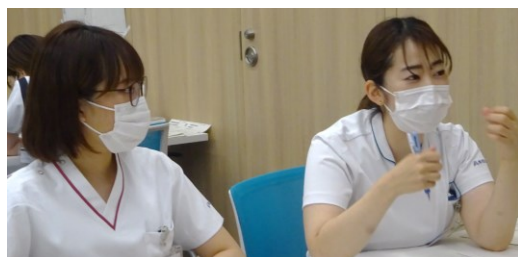
### 講義内容

1. 看護過程の概要  
看護の視点
2. アセスメント  
全人的視点  
データ収集・データ解釈  
情報の整理・統合  
診断候補
3. 看護アセスメントの枠組み（ゴードンの機能的パターン）
4. データの持つ意味を引き出す理論・知識
5. インタビュー演習

講義では、患者の強み・気がり・困りごとに着目し、個別性を考慮した看護を展開する必要性を学びました。



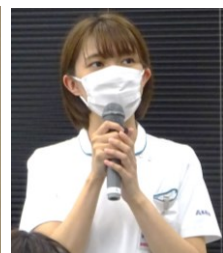
インタビュー演習では、インタビュー時の基本的姿勢やコミュニケーション技術を学びました。



グループワークでは、臨床推論モデルを使用して、看護診断、看護目標や看護介入を論理的に考えました。



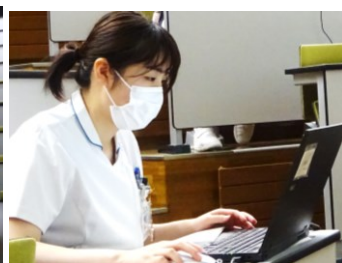
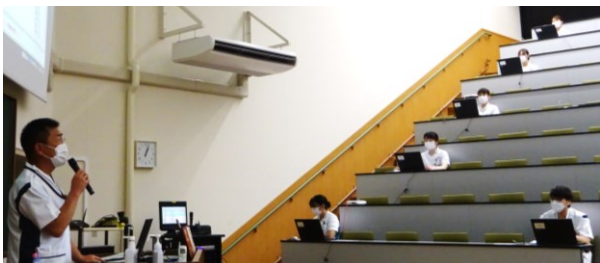
ファシリテーターとして看護診断力アップチームが参加しました。どのグループも活発な意見交換が行われていました。



全体会では、受け持ち看護師として患者と関わるときの自己の課題を明確にしました。

## 看護過程操作研修

研修日：7月12日



看護計画の入力やコメントの入力方法を学び、実際に研修端末で入力しました。

アセスメントデータベースの入力方法を学びました。

